

# 「奈良高山里山＝学研高山地区第2工区」のあり方を考えるつどい ご参加をお待ちいたしております！

## 学研高山第2工区のあり方を考える生駒市民の会（略称：市民の会）



【1】学研（関西学術研究都市）高山地区第2工区を略して**第2工区**といいます。第2工区の場所は左の地図の通りです。奈良先端科学技術大学院大学がある地区を学研高山第1工区といい、第2工区はその北側にあります。第2工区の面積は約**288ha**で、**生駒市の面積の約5%**もあります。この**生駒市北部に広がる里山**である**第2工区がどうなるかは生駒の未来を大きく左右**します。

【2】右上の写真は、第2工区の景観です。第2工区のあり方としては、このような**里山の保全活用を主体とする**という選択肢があります。



一方、右下の写真は、開発のイメージ写真です。このように、**莫大な予算を投入して山を削り谷を埋め緑をなくして更地を造成し、自動車専用道路・学術施設・産業施設等の工作物を設置する**という**開発を主体とする**の選択肢もあります。



しかし、＜里山の持つ力＞を見たとき、里山を壊した上で自治体に**財政破綻**とそれによる**行政サービスの低下と増税のリスク**を負わせる後者でなく、前者の選択が生駒の未来を切り開いていく道と考えます。

### ＜里山の持つ力＞

里山は、**生物多様性戦略推進機能**（注）、**食の安全保障機能**（農林産物産出）、**環境保全機能**（CO<sup>2</sup>の吸収・固定化による地球温暖化防止／大気浄化／保水／気温調整等）、**遊び保養学び育ち**（レクリエーション、癒し、健康増進、里山学校、里山幼保園等）の場の提供など、大きくは**地球環境を保全して人類の生存を保障**し、身近では**私たちが生きる社会の持続可能性をもたらす力**をもっています。

（注）生物多様性戦略：多様な生物とのつながりの中で生かされている人類の生存持続のため、多様な生物を減少・絶滅させないこと。

【3】そこで私たちは、**第2工区のあり方を市民の皆様と一緒に考え決めていこう**という活動をしています。

（1）これまで、次のような活動をしてきました。

＜1＞**里山保全活用事業の参考事例見学調査**⇒あいな里山公園（兵庫県神戸市）、エミュー牧場（佐賀県基山町）、木津北里山保全活用事業地（京都府木津川市）、甲山自然環境センター（兵庫県西宮市）、SATOYAMA JAPAN 活動地（生駒市南部）、花の郷 滝谷花しょうぶ園（宇陀市）、信貴山のどか村（三郷町）、西陣屋農場（京都府亀山市）、伊賀の里モクモク手づくりファーム（三重県伊賀市）、びわ湖バレイ（滋賀県大津市）、冒険の森 in のせ（大阪府能勢町）、五桂池ふるさと村（三重県多気町）、自然農園 アイビィファーム（大和郡山田市）を見学調査。

＜2＞**講演会**⇒漢谷浩介氏講演会「生駒の、その里山の未来！」開催。河瀬直美監督講演会「里山資本を活かした地域づくり」や山口美知子氏（東近江市森と水政策課）講演会「地域資源と経済循環を活かしたまちづくり」等に参加。

＜3＞**学習会**⇒2回にわたる「奈良高山里山＝第2工区」のあり方を考えるつどいを開催。

＜4＞**現地調査等**⇒第2工区の現地調査・資料調査や徒歩見学会を実施。

（2）このたび、（1）を踏まえて「**第2工区のあり方（素案）**」を作成いたしましたので、それを資料とした**第3回「奈良高山里山＝第2工区」のあり方を考えるつどい**を、次の要領にて開催いたします。多

日時： **2月11日（月／祝） 10:00～12:00**

場所： **たけまるホール**（多目的室）

内容： 「高山里山＝第2工区」のあり方（**社会課題解決＝里山保全活用**）型ビジネスの展開の説明と質疑

多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

問い合わせ先： 市民の会（事務局） 吉波伸治 〒630-0121 生駒市北大和3-2-7 ☎0743-84-4355